

○学校会計と企業会計の違いおよび学校会計の特徴

学校会計と企業会計の大きな違いはその目的にあります。

企業会計は営利を目的とし、営業活動の成績を損益計算書で表し、その年度の収益と費用を正しく捉え収益力を高めることを目的としています。これに対し学校会計は営利を追求することは許されず、教育研究の遂行を目的とし、一般企業よりも高い公共性から安定的かつ永続性を保持した経営を目指すことを目的としています。そのため、文部科学省令による「学校法人会計基準」に従って会計処理を行い、「計算書類」を作成しなければなりません。「計算書類」とは資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、および附属する内訳表、明細表のことを言います。